

第1期新居浜市総合戦略 総括

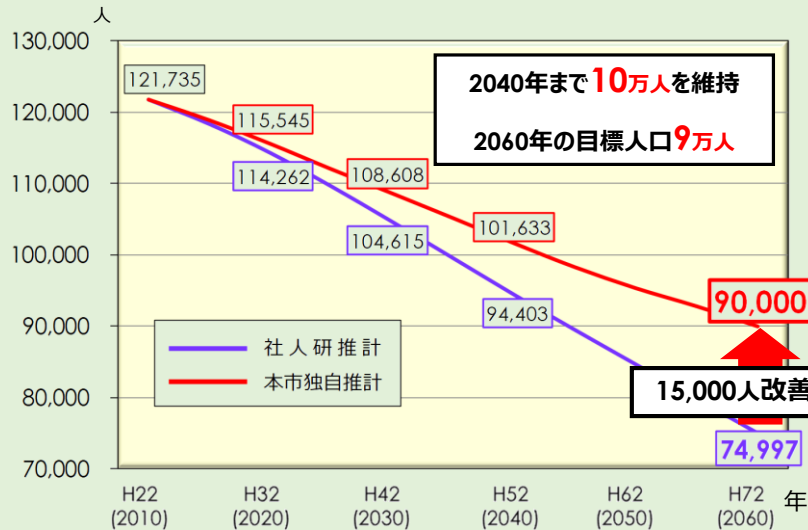
～住みたい、住み続けたいあかがねのまちを目指して～



令和2年8月
愛媛県新居浜市

■新居浜市人口ビジョンと総合戦略

新居浜市人口ビジョン



平成72(2060)年の目標人口 **90,000人**

平成52(2040)年まで **100,000人**を維持

そのためには・・・

平成42(2030)年 **108,608人** [独自推計値]

平成32(2020)年 **115,545人** ["]

目的と手段の関係

新居浜市総合戦略

- 基本目標1 **新** たな雇用を創り出し、地元産業を振興します
- 基本目標2 **居** 住地・観光地としての魅力を高め、定住人口・交流人口を拡大します
- 基本目標3 **浜** つ子を増やすため、結婚・出産・子育て支援を充実するとともに健康長寿社会を実現します
- 基本目標4 **市** 域を越えた連携を進め、地域特性を踏まえた時代に合ったまちづくりを推進します

4つの基本目標

14の施策

100の具体的な取組・事業

7つの数値目標

38のKPI

住みたい、住み続けたい **あかがねのまち** を目指して

■基本目標

基本目標 1 **新** たな雇用を創り出し、地元産業を振興します

基本目標 2 **居** 住地・観光地としての魅力を高め、
定住人口・交流人口を拡大します

基本目標 3 **浜** っ子を増やすため、結婚・出産・子育て支援を
充実するとともに健康長寿社会を実現します

基本目標 4 **市** 域を越えた連携を進め、地域特性を踏まえた
時代に合ったまちづくりを推進します



「住みたい、住み続けたい **あかがねのまち**」の実現

■ 第1期総合戦略における各指標の達成状況

	数値目標	策定時現況値	目標値	令和元年度末
基本目標 1	市内事業所従業員数(公務を除く)	54,020人(24年度)	54,100人	53,020人(28年度)
	市内製造品出荷額等	6,582億1,500万円	7,000億円	7,973億6,038万円○
基本目標 2	年間社会増減数	▲399人	▲260人	▲206人○
	年間観光入込客数	2,206,000人	2,500,000人	2,635,659人○
基本目標 3	合計特殊出生率	1.8	1.9	発表なし
	65歳健康寿命	男 16.04歳 女 19.47歳	男 17.3歳 女 20.5歳	男 17.11歳 女 20.28歳 (27年)
基本目標 4	「新居浜市の住み心地」を満足、 やや満足と回答した人の割合	55.5%	80.0%	62.9%

【KPI】

KPI (38項目) 16 (達成できたKPIの数) / 38 (KPIの総数)

基本目標 1 3 / 10

基本目標 2 4 / 11

基本目標 3 3 / 7

基本目標 4 6 / 10

KPI (重要業績評価指標) とは・・・
「最終的な目標に対して、その達成につながる状況をみる指標」のこと。
「Key Performance Indicator (キー パフォーマンス インジケータ)」の略

なお、平成28年度実績において既に目標値を上回った項目につきましては、29年度にKPIの見直しを行った結果、8項目の上方修正を行っております。

基本 目標 1

新 たな雇用を創り出し、地元産業を振興します

□ 新居浜ものづくりブランドの創出・支援



平成28~30年 テレビ愛媛にて放送

新居浜市には、産業機械製作や部品加工、プラント製作と保守管理、機械設計、ソフトウェア開発など幅広い分野にわたり、多岐で重要な産業が集積しています。その中で特筆に称される優れた工業製品や特長ある技術を「新居浜ものづくりブランド」として認定して全国に広く情報発信しています。

テレビ愛媛「新居浜ものづくりブランド」(毎週水曜 21:54~)では、認定された企業の技術や機械の活躍を21週にわたって紹介してきました。地元新居浜市民をはじめ、就職を控えた学生にも好評につき、このたび30分の特別番組を作成、11月下旬に放送する予定となりました。

出演予定者

- ◆ナビゲーター 山本真文 (愛媛県ユニバーシティ・カレッジ・カレッジ)
- ◆新居浜市長
- ◆新居浜ものづくりブランド認定企業のみなさん
- ◆ナビゲーター 現役大学生
- ◆LINKHEAD (愛媛県観光局) 撮影のアーニング JHEARTBEATER



山本真文



大学生 八木佑輔くん



2017年度新卒採用発表

ものづくり絶好調

□ 住友各社との関係深化と企業誘致の促進

住友各社



新居浜市
愛媛県



トップミーティングの開催

□ 新居浜ものづくりマイスター制度の創設

ものづくりの現場で卓越した技術を有し、優れた指導力がある人を「新居浜ものづくりマイスター」として認定、顕彰

□ 製造業のイメージアップ等への取組

若年層の製造業離れなどによる労働者不足の課題に対応するため、町工場で働く若者紹介事業「ゲンバ男子」やものづくり企業情報を発信する「メディアプロモート」への取り組み



メディアプロモート撮影風景

基本 目標 1

新 たな雇用を創り出し、地元産業を振興します

K P I	策定時 現況値	目標値	最終年度 時点
県・市が支援した全国規模の展示会での市内企業の成約額	3億600万円	5億円	5億8069万8千円
新規高等学校卒業者の製造業への就職内定者数	169人	200人	164人
中小企業振興条例人材養成事業補助対象者数	159人	200人	78人
経営改善専門家派遣の受入企業数	3社	4社 (27-31平均)	4.2社
企業立地促進条例による成長分野促進奨励金の交付件数	なし	3件 (27-31平均)	2件
市の創業支援による創業件数（うち女性による創業件数）	なし	22件(10件) (27-31平均)	12.8件 (6件)
市が関与した事業承継件数	なし	1件 (27-31平均)	0件
中心商店街の新規出店件数	3件	3件 (27-31平均)	2.3件
6次産業化による新商品開発件数	2件	2件 (27-31平均)	1.8件
企業立地奨励金の対象となる設備投資額	155億円	160億円 (27-31平均)	204億円

基本目標 1 については、数値目標の「市内製造品出荷額等」や K P I の「県・市が支援した全国規模の展示会での市内企業の成約額」、「企業立地奨励金の対象となる設備投資額」では目標を達成しており、産業振興の分野においては一定の成果を上げていると分析しております。

一方で、数値目標の「市内事業所従業者数」は減少傾向で、K P I の「新規高等学校卒業者の製造業への就職内定者数」は170人前後で推移し、「中小企業振興条例人材養成事業補助対象者数」も減少傾向にあるなど、人材確保・育成の面においては厳しい状況にあると考えられ、更なる取り組みが必要と考えます。

□ お試し滞在の推進、
空き家バンク制度の創設

お試し滞在用住宅を整備し、移住検討者へ
一定期間提供
また、利用可能な空き家情報の収集、データ
ベース化を行い、市ホームページ等で公開



□ 奨学金返済支援事業の実施

市内の中小企業へ就職した方等
を対象に、返済した奨学金の一部
を助成



□ 女性が活躍できる環境づくりの推進

市内の中小企業等が、女性の活躍を推進す
る職場環境づくり（女性更衣室等）に取り組
む場合、その費用の一部を助成

□ 新居浜市シティブランド戦略の推進

新居浜市の持つ価値を市内外に浸透させて
行くとともに、市民と一緒に未来の新居浜
を作っていくため、「新居浜みらい会議」の開催
やHello!NEW新居浜チャレンジ推進業務等
を実施



基本 目標 2



住地・観光地としての魅力を高め、 定住人口・交流人口を拡大します

K P I	策定時 現況値	目標値	最終年度 時点
相談窓口等を通じた移住者数	—	25人	49人
奨学金返済支援事業を利用した市内就職者数	—	65人 (28-31平均)	45人
お試し移住（滞在）利用者数	—	20件	20件
空き家バンクマッチング成約件数	—	10件	46件
三世代同居・隣居支援件数	—	30件	33件
実現したCCRC件数	—	1件	0件
マイントピア別子（端出場）入込客数	431,010人	700,000人	593,270人
新居浜太鼓祭り入込客数	181,700人	200,000人	181,500人
サイクリングイベント参加者数	—	450人	345人
地域ブランド調査全国ランキング	魅力度430位 認知度433位	魅力度200位 認知度200位	魅力度483位 認知度481位
新居浜ブランドとして認定された物産数	—	2品 (28-31平均)	1.5品

基本目標2において、数値目標の「年間社会増減数」やK P Iの「相談窓口等を通じた移住者数」等の移住・定住関係の分野で多くの目標を達成しており、移住・定住関係の取り組みが成果を上げているものと認識しております。

数値目標の「年間観光入込客数」は目標達成しており、移住・定住につながる交流人口の拡大が図れているものの、これは東予東部圏域振興イベント「えひめさんさん物語」等の大型イベントの効果によるものと分析しております。「マイントピア別子入込客数」や「サイクリングイベント参加者数」等の個々の観光関係のK P Iでは減少傾向が続いており、観光客誘致のための更なる取り組みが必要と考えます。



□ 小中学生に対する医療費助成の充実

平成28年10月から、全ての医療費の助成対象を中学校卒業まで拡大し、医療費負担の軽減による子育て支援の拡充。

□ 休日夜間急患センターの 日曜日の診療時間延長

平成28年4月から、日曜日の夜間（18時～21時）の小児科の診療を開始。



□ 多子世帯の学校給食費に対する支援

市内の小中学校に3人以上通学している世帯を対象に、第3子以降の学校給食費を免除。（所得制限有り）

□ 新居浜市縁結びサポート事業

縁結びサポートセンターを運営するとともに、結婚サポーターを任命し、出会い交流イベント等を開催、交際、婚姻を支援。



□ 地域子育て支援施設の運営

おおむね3歳未満のお子さんと保護者が気軽に集い、情報交換や育児相談をしたり、安心して遊び、おしゃべりできる交流の場を開設（市内8か所）



基本 目標 3



っ子を増やすため、結婚・出産・子育て支援を 充実するとともに健康長寿社会を実現します

K P I	策定時 現況値	目標値	最終年度 時点
イベント等をきっかけとした婚姻数	1組	3組 (27-31平均)	6組
人口1,000人当たりの年間出生数	8.1人	8.5人	6.9人
イクボス宣言をした市職員数	—	250人	264人
現実の子どもの数（アンケート調査回答）	1.97人	2.05人	—
地域子育て支援拠点施設延べ利用者数	37,315人	50,000人	44,478人
「子育て支援策の充実」を満足、やや満足と回答した人の割合	17.5%	20.0%	21.0%
がん検診受診率	9.3%	40.0%	15.2%

基本目標3では、数値目標の「65歳健康寿命」は目標達成こそならなかったものの上昇傾向にあり、更なる取り組みにより目標達成は可能と認識しております。

また、「地域子育て支援拠点施設延べ利用者数」では、新型コロナウイルス感染症の影響により最終年度こそ目標が達成できなかったものの、平成29、30年度は目標を達成しており、全体的にも増加傾向にあります。平成28年度以降8つの拠点施設で運営を行っており、子育て世代にとって選択肢が豊富であることが満足度を引き上げる要因になっているものと分析しております。

このことが少なからず、「『子育て支援策の充実』を満足、やや満足と回答した人の割合」に表れているものと分析しております。

一方で、「人口1,000人当たりの年間出生数」は減少傾向にあり、安心して子供が産める環境づくりが必要と考えます。

□ 新居浜・西条・四国中央の連携推進

広域観光イラストマップの製作や3市圏域の呼称・愛称の募集等、ものづくりを共通の基盤とする3市の連携を推進しています。



えひめさんさん物語

東予東部3市の魅力を発信。
交流人口の拡大や観光振興、
産業人材の確保につなげる。



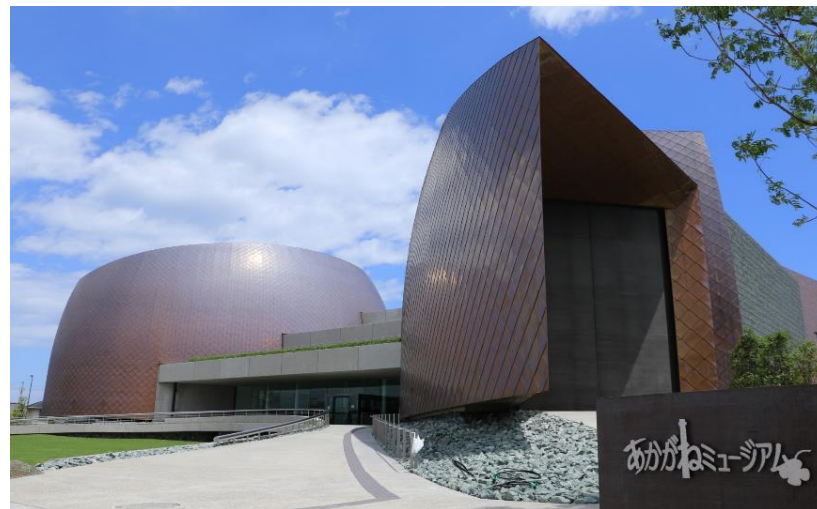
□ 公共施設再編計画の策定



将来の本市の規模に見合った必要な施設を見極め、効率的な利用ができるよう、公共施設再編計画を策定

□ 芸術文化活動の推進

優れた芸術・文化に触れる機会の提供



□ 立地適正化計画の策定

コンパクトなまちづくりを行い、いつまでも暮らしやすいまちの実現を目指すため、立地適正化計画を策定

基本 目標 4



域を越えた連携を進め、地域特性を踏まえた 時代に合ったまちづくりを推進します

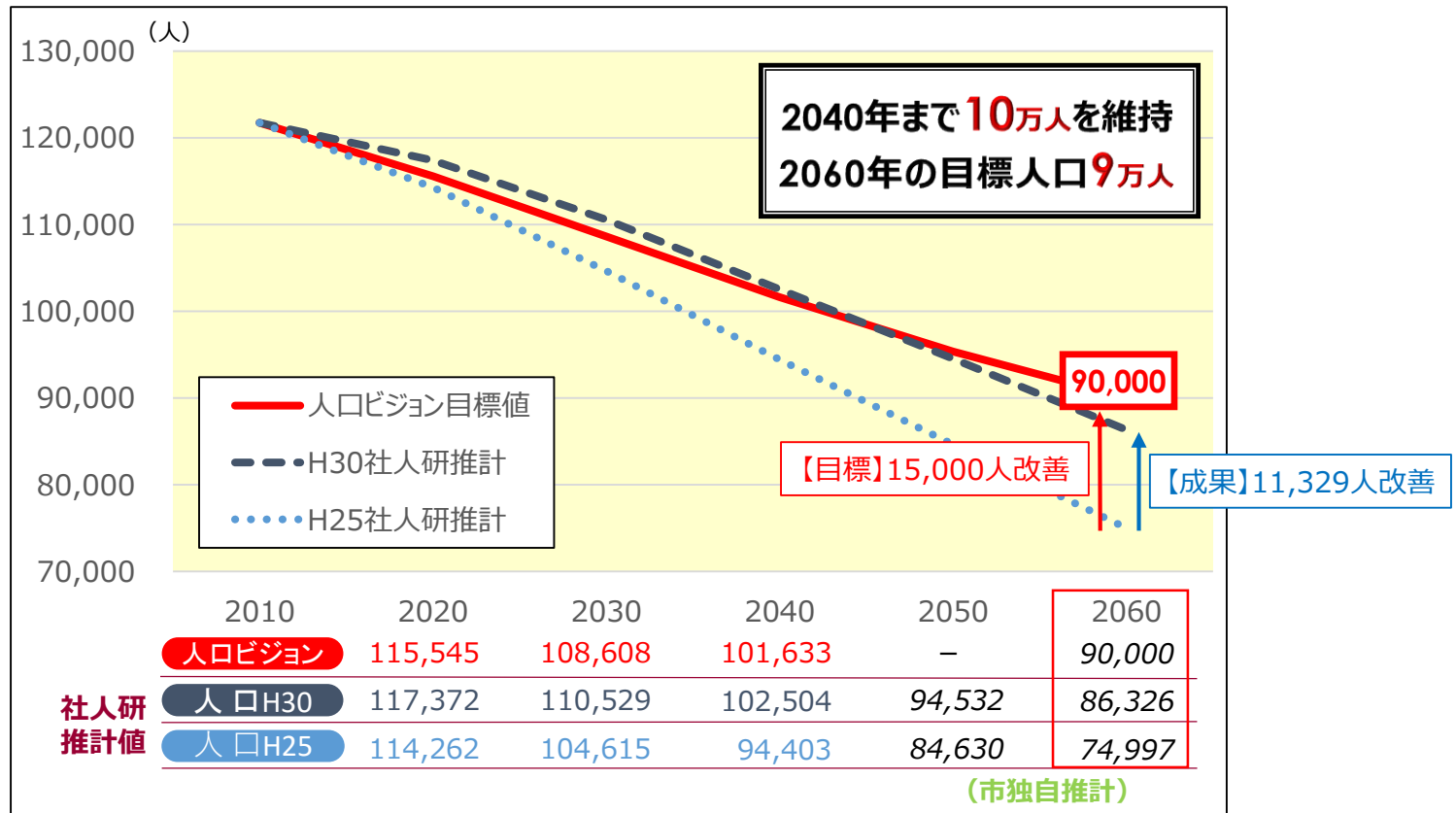
K P I	策定時 現況値	目標値	最終年度 時点
広域連携で取り組んだ 事業数	—	5事業	7事業
公共施設の延床面積削 減目標の設定	—	削減目標 設定	設定
公共施設再配置計画の 策定	—	計画策定	策定
立地適正化計画の策定	—	計画策定	策定
汚水処理人口普及率	—	77.4%	77.9%
「コミュニティ活動の 充実と支援」を満足、 やや満足と回答した人 の割合	20.7%	25.0%	16.8%
自主防災組織(単位自 治会)の組織率	31%	67%	56%
自主防災訓練参加者数	3,350人	6,000人	6,582人
芸術文化施設利用者数	133,653人	390,000人	345,945人
週1回以上の市民(聖 人)の運動実施率	45.4%	67.0%	58%

基本目標4では、K P Iの「自主防災組織(単位自治会)の組織率」は微増、「自主防災訓練参加者数」は目標達成しており、自分の身は自分で守るという自助の意識が根付きつつあると分析しております。

一方で、「『コミュニティ活動の充実と支援』を満足、やや満足と回答した人の割合」については減少しており、価値観が多様化し、近所付き合いが希薄となっている地域社会において、自治会加入率の低下が問題視されるなど、地域特性に応じた共助のネットワークをいかに構築していくかがこれからの課題となってくると考えております。

また、「文化芸術施設利用者数」は、平成27年のあかがねミュージアムの開館以来、基準年の平成26年度と比べると2.5倍以上の大幅な増加をしており、目標値の達成こそならなかったものの、新居浜市の住み心地の向上に寄与しているものと分析しております。

■ 新居浜市における人口の将来展望



令和元年度に平成27年国勢調査に基づく平成30年時点での国立社会保障・人口問題研究所準拠推計値が公表されました。それを基に推計した令和40（2060）年の本市の人口は、平成27年人口ビジョン策定時の74,997人から86,326人と大きく改善しており、施策の効果が表れてきているものと考えられます。

しかし、ここ数年の出生数の減少等を勘案すると、今後も予断を許さない状況にあることには変わりはありません。